

やくわえ

不定期号

研鑽に親睦に 行事盛ん

五月二十二日、川合玄秘会長以下新役員また新委員での臨時総会以来、各部の事業は順調に消化されている。研鑽と親睦に各事業とも多数の会員が参加され盛会のうちに終わっている。

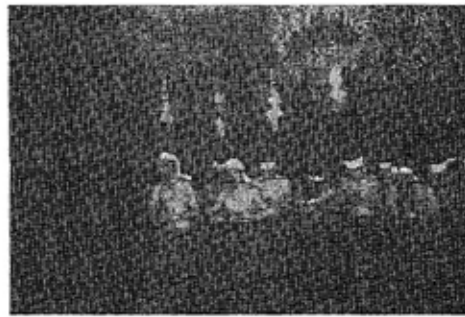
模練成会

模練成講習会は七月十三日十四日の両日、武州新山において京都神社行教化部、地方研修所主催で行われた。四十六名が無事練習を終了した。



麻知家にて練成に励む

今年梅雨明けが遅れ、御滝での模も小雨中で行われた。水も冷たく、御滝までの道中もぬかる



御滝での模

んでいるという悪い条件にもかかわらず、熱心な行が続けられた。

道彦に斎藤成徳先生、助彦に八木光昭先生の御指導をいただき、夜は代々木八幡神社宮司平岩清雄先生の講話をいただいた。白衣姿で行の厳肅な中での講話であり、「神を見る思いがした」と感想を語った会員もあった。

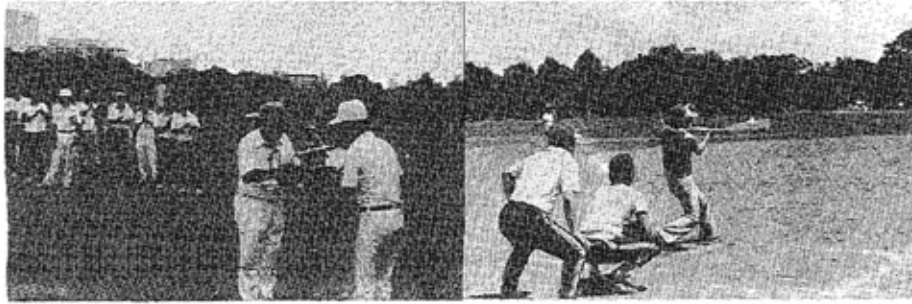
十四日には感話会が行われた。以下感話会での言葉である。
。生命力が伸びたような気持ちを持つことができた。
。下界を離れた山の上、御滝での模と環境に恵まれている。
。せつかくの環境を生かすべく

青年神職の多数の参加が望まれる。
。わずか二十四時間ではあるが身も心もすっきりした感じである。
。日常生活にこの模で得たものを生かせたらと思う。

ソフトボール大会

八月十四日明治神宮外苑球場に大先輩も先輩もそして現役会員もが一同に集い、真夏の暑さをものともせず、ソフトボール大会を開催した。

初めての事業であり、担当した事業部を始め各会員の苦勞が実り



熱戦

優勝杯を受ける第三地区

開催にいたった。第一地区から第五地区までの五チームが参加し、地区内の親睦は勿論先輩後輩入り乱れての一日は、大成功の大会であった。

決勝戦は第三と第四の対戦となり、シーソーゲームを展開、結局十四十三で第三地区が優勝した。優勝した第三地区は森田先輩が監督となり、ベンチでの好采配が光った。たんねんにメモを取り、代打等の適格な選手交代で、相手チームもまいりました。

敗れた第四地区は神尾監督以下十名の選手で大健闘。香取氏がリリーフエースとなって決勝へ進出したが、最後に打たれ、江夏だつて日に何度もリリーフすれば打たれるよと敗戦の弁。

始球式は松山能夫先生が行った。松山先生は第一地区のメンバーとしても活躍された。第一はクジ運で連続試合となり、決勝進出を目前にして逆転負け。強力メンバーを自負していた千村監督は、暑さと運に負けたと……。

大会を盛り上げていただいた先輩諸氏、誠に有りがとうございました。来年は三十周年記念事業の一つとして、さらに盛大に行うことが決定しました。

懇親旅行会 熱海グランドホテル に集う

恒例の懇親旅行会は六月二十七日、二十八日に行われた。先輩を始め三十八名が参加して、熱海の楽しい夜を過ごした。
新年度に入り言わば最初のレクリエーションであり、新会員も多数参加した。神青旅行は初めてと

いう会員もあり、熱海での夜はあちこちで話の輪ができて、いつまでも灯が消えなかった。

豊富な料理と大勢の芸者さんにはびっくり。何時にも豪華な宴会となつて、お世話いただいた事業部には有りがたく感謝します。

参加者が大勢で夜の過ごし方も議論に一次会に麻雀にと多種多様となり、寝床の確保が大変になりました。

椿山荘で ほたる観賞の夕べ

今年のほたる観賞の夕べは七月九日に行われた。七十五名の参加があり、まさに盛大に夏の夜を過ごした。

家族お揃いで参加も多く、平素お会いできない奥様同士、また合意合意同士の和やかな話が交された。

バイキングをいかにたくさん食べるかは常に考えるところであるが、あまりの盛会で苦戦に終わったようである。幼稚園の先生それも女性が大勢参加され、胸がワクワク料理どころではなかった会員もあったとか。

今年度は多数の新会員を迎え、各事業は大いに活発化されている。青年神職が内での活動にとどまらず、大きな運動を展開していくためには、現在の活気を失わずに持続させる必要は大であり、役員委員のより大きな事業推進の努力が望まれる。

思いがけない 子供の自転車事故

氷川神社宮司
八木正明

それは、先日の出来事、夕方三才の幼児を連れて買物途中での事、小学四年生の男の子の乗った自転車親の手を離して歩行中の幼児をひいてしまったとの事、その時は子供が倒んで、何げなく起こして互いに気を付けてと別れたものの、その被害者の幼児が夜になって、頭痛、はきけを催し救急車で運ばれ脳内出血とのことで即手術。一命は取り止めたものの、さて加害者が伴らないとさがしていたら、丁度その話を聞いた一人が自宅に帰り我が子に尋ねたら、どうもそうらしいとびっくり、子供は何でもなかったよと平静としていたという内容である。この事故は相方が良い人だったので無事処理出来たが、小生も親に話を聞いたら、自転車には保険も入っていないし日常「車には気を付けなさい」と注意はするが、自転車でも人をひかない様にとは、注意していなかったと言う。
ここであらためて、子供の自転車に対する注意も考え直さなくては。現在、全ての保険加入度が多くなっている中で、今回の様な子供の自転車保険加入者は少ないとえます。考えさせられる事故であった。



新会長に 中田昌之氏を選出

—神青協三十周年 記念式典開催—

神道青年全国協議会は創立三十周年を迎え前年より記念事業を推進してきたが、去る六月二十一日に定時総会、二十二日には記念式典を開催して新しい一歩を踏み出した。

六月二十一日神社本庁に於て定時総会を開く。十五に及ぶ議事が審議され、中田昌之会長（東京）以下新役員を選出した。都神青の役員は次の通りである。会長中田昌之氏、理事川合玄菘氏、常任理事八木敏夫氏、同長岡式郎氏、同守谷幸夫氏、同押見守康氏。

六月二十二日明治記念館に於て三十周年記念式典が盛大に行われた。中田新会長、北川前会長のそれぞれの挨拶があり、新しい世代への引継ぎが力強く行われた。式典に続いて中尾栄一衆議院議員の講演があった。日本の情勢について適切な良い道力身に迫る話が続き、思わぬの拍手が続いた。後懇話会に移り、三十周年の記念式典とあつて全国より四五〇人の同志が集い、先輩後輩互いに昔



中田新会長・北川前会長による開演

話に花がさいた。長く青年神職運動に携わった人々、これから第一線に立ちとうとする人々などが大いに語り、神青協の歴史の大きさを感ぜさせた。

また当日長年の功績のあつた方々が表彰された。東京では本部推薦の森田義則氏、滝実氏、小泉明昭氏、プロック推薦の大島居信史氏、蔵重命史氏が、それぞれ役員としての功勞により表彰された。

都氏青協も

金子充広新会長を選出

東京都氏子青年協議会は今年も漸次単位氏青会の結成をみていて、六月十八日神社本庁に於いて、五十四年度の総会を開催した。

決算・予算案・事業報告・事業計画案が滞りなく審議され、田中弥次右衛門会長が辞意を表明した。横場一致にて金子充広氏（本郷水川神社氏青会）が会長に選出された。副会長以下新役員は次の通りである。（敬称略）

副会長 藤村武雄（日枝神社氏青会）
“ “ 西原文隆（牛島神社氏子青年会）
“ “ 鈴木道男（浅間神社青年会）
“ “ 栗保忠正（浦田氏子青年会）



金子新会長挨拶

庶務 鈴木英之（品川神社氏子青年会）
監査 青山 亨（馬場稲荷神社氏子青年会）

新役員のもと、会報の発行・懇親旅行会の実施などの計画がある。

新氏子青年会紹介

今泉神社氏子青年会

（結成）昭和五十四年四月十五日
（所在）大田区矢口二ノ二ノ二一
（宮司）鈴木武司
（会長）森井知也
（会員）三〇名

宮司さんのお話
氏は昔の風習が多く遺っている土地柄である。それも忘れがちな今日、例大祭やお正月の諸行事を総代さんと一踏になつて行うことによつて、青年達に神社の行事を理解してもらい、昔のことも引き継いでもらいたい。とにかく一年間の活動をして、来年度には規

野球部今年の戦績

- 一都七県神社庁親善野球大会
七月三日 於千歳
一回戦、二回戦とも快勝、決勝で群馬に敗れ、第二位
- 東西神社人野球大会
七月十七日 於伊勢
緒戦強敵伊勢神宮チームと対戦して完敗。三位決定戦に勝ち二位
- 神青協三十周年記念野球大会
七月二十六日 於明治神宮外苑
緒戦これも強敵石川神青に惜敗する。
- 東京都神道人野球大会
七月二十七日 於明治神宮外苑
都神青の単独チームで参加し、同じ仲間うちチームワークも申しかりとれて、緒戦を快勝。準決勝の対世田谷戦も快調にリードするも、終盤突如守備が乱れ逆転負け。全般的に打力の不振が目立った

久が原西部八幡神社氏子青年会

（結成）昭和五十四年八月十九日
（所在）大田区久が原四ノ二ノ七
（宮司）大村 博
（会長）中島敬照
（会員）一〇〇名

会長さんのお話
私達氏子青年会は敬神崇祖の心を養い、神社の祭典に積極的に参加することを主たる目的とする。これを基に各自の人格の陶冶と教養の向上、会員相互の親睦を図ると共に、清く明るい郷土造りに地域繁栄及び福祉に寄与すべく、久が原西部八幡神社を交流の場として、青年の輪を拡げていこうという趣旨の基に結成しました。

白鬚神社氏子青年会

（結成）昭和五十四年十月二十一日



東京都大会始球式（投手は松山能夫先生）

一年であった。一都七県大会では群馬の林投手のミラクル投法にしてやられたり、伊勢大会でも神青協大会でも敗因は打てなかつたことである。

ある会員は、練習の場を多くしてナインの固結と打力の向上を図ることが課題であると述べた。

（以上広報部取材）

お知らせ

- 忘年会 十二月四日（火）～五日（水）
熱海ホテル池田
宴会四日午後六時
会費一万円
- 新年会 一月十六日（水）
神田明神会館
講演午後三時 祝宴四時三十分
多数のご参加をノ

編集後記

不定期号は以前にも出しましたが今回の内容は、体裁とも初の試みになります。思い切ったことをしすぎたとも感じています。御意見をいただければ、これからの「やくわえ」発行にも生かせると思います。反響を期待しています。

（広報部長 千村義和）

昭和五十四年十一月十五日
東京都神道青年会
東京都港区元赤坂二二一三
東京都神社本庁内
電話（408）三三六一・九二七七